

民衆の声
ボイス

No.85

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0017横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060

公明党主導の議員提案条例

「横浜市国際平和の推進に関する条例」が成立!

6月5日、横浜市会において「横浜市国際平和の推進に関する条例」が全会一致で可決成立しました。

本条例の成立には、一貫して公明党がリードしてきました。世界の平和と安定の実現に向け、地方自治体の果たす役割は拡大しています。本市が国際平和に貢献する取組を一層推進するために、国際交流、国際協力、多文化共生等の取組の推進と共に、必要な財政上の措置も義務として定めています。

一方、共産党が提案した「横浜市平和事業の推進に関する条例」は、賛成少数で否決されました。国連から選ばれた「ピースメッセンジャー都市・横浜」が、引き続き、世界平和に貢献すべく事業を推進して参ります。



提案理由を説明する高橋正治団長

「条例の主なポイント」

①前文

国際平和に関するこれまでの取組や背景等を明記し、制定理由や考え方、核兵器廃絶など基本理念を強調しました。

②市と市民の役割

市の役割として、国際平和に関する市民の理解を深めるため、必要な啓発と教育を行うものとなりました。

また、市民の役割として国際平和に貢献する取組について理解するよう努めるとしました。国際平和の実現は世界共通の願いです。できる範囲で、国際平和について理解を求めるものです。

③市の施策を推進

世界の平和と安定につながる国際交流、国際協力、多文化共生の施策を着実に推進するため、それぞれ条項に決めました。

④財政上の措置

平和啓発の事業や国際平和の推進に関する施策を実施するため、必要な財政上の措置を講ずるものとなりました。

平成31年度予算編成に向けて
各種団体との政策懇談会を実施

6月11日から15日にかけて、公明党市議団は、来年度の予算編成に向けて、各種団体との意見交換の場である「政策懇談会」を開催しました。

参加した33団体から寄せられた様々な要望や提案は、来年度の予算要望に反映するほか、市議団の今後の施策に活かします。

犯罪被害者の支援、条例制定へ

犯罪にあつと、直接の被害だけでなく、捜査や裁判等、司法上の手続き、生活上の様々な手続きが必要になるなどの問題が生じます。

公明党市議団は、被害者に寄り添う支援として、相談窓口の設置や条例制定の必要性を訴えてきました。

平成24年、「横浜市犯罪被害者相談室」が設置され、相談支援と啓発事業を展開してきました。

そして、この度、「横浜市犯罪被害者等支援に関する条例案の骨子」についての市民意見募集が始まりました。

安心して暮らすことができる地域社会の実現へ、横浜市の取組が前進します。



市長に緊急要望

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震に伴い、公明党市議団は21日、林市長および教育長に対し緊急要望を行いました。

通学中の女兒がブロック塀の下敷きになって死亡する痛ましい事故等が発生したことを受け、①小中学校周辺及び通学路のブロック塀などの総点検を行い、早急に安全対策を講ずること②高齢者の方々に配慮した家具転倒防止対策等の取組をさらに促進すること③木造住宅密集地域の火災対策を推進すること④生活道路・港湾岸壁の空洞調査を講ずること⑤無電柱化の取組を加速すること、を求めました。



林市長は、現場の状況に応じた提案・要望として受け止め、しっかりと取り組んでいくと応じました。

皆さまの、いちばん近くで動く、働く。横浜市会公明党です。 2018年5月 新しい構成により議会がスタート

 <p>仁田 昌寿 (南区) 副委員長 ● 建築・都市整備・道路委員会 ● 減災対策推進特別委員会</p>	 <p>和田 卓生 (旭区) 副委員長 ● 政策・総務・財政委員会 ● 大都市行財政制度特別委員会</p>	 <p>尾崎 太 (鶴見区) 政務調査会事務局長 ● 温暖化対策・環境想像・資源循環委員会副委員長 ● 減災対策推進特別委員会</p>	 <p>望月 康弘 (港北区) 委員長 ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進特別委員会</p>	 <p>竹内 康洋 (神奈川区) 副団長 ● 水道・交通委員会 ● 新たな都市活力推進特別委員会 ● 市会運営委員会副委員長</p>	 <p>斎藤 真一 (都筑区) 委員長 ● こども青少年教育委員会 ● 新たな都市活力推進特別委員会</p>	 <p>斉藤 伸一 (保土ヶ谷区) 副委員長 ● 健康福祉・医療委員会 ● 健康づくり・スポーツ推進特別委員会</p>	 <p>高橋 正治 (緑区) 団長 ● 温暖化対策・環境想像・資源循環委員会 ● 新たな都市活力推進特別委員会副委員長</p>
 <p>竹野内 猛 (金沢区) 副委員長 ● こども青少年教育委員会 ● 基地対策特別委員会 ● 市会運営委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員</p>	 <p>安西 英俊 (港南区) 委員長 ● 建築・都市整備・道路委員会 ● 郊外部再生・活性化特別委員会</p>	 <p>中島 光徳 (戸塚区) 副委員長 ● 政策・総務・財政委員会 ● 大都市行財政制度特別委員会</p>	 <p>行田 朝仁 (青葉区) 議会議長 ● 国際・経済・港湾委員会 ● 郊外部再生・活性化特別委員会 ● 市会運営委員会 ● 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員</p>	 <p>福島 直子 (中区) 議会議長 ● 健康福祉・医療委員会 ● 減災対策推進特別委員会 ● 神奈川県内広域水道企業団議会議長</p>	 <p>源波 正保 (泉区) 副委員長 ● 国際・経済・港湾委員会 ● 基地対策特別委員会</p>	 <p>加納 重雄 (瀬谷区) 副委員長 ● 水道・交通委員会 ● 郊外部再生・活性化特別委員会</p>	 <p>加藤 広人 (磯子区) 副委員長 ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 大都市行財政制度特別委員会 ● 監査委員</p>

通年可能なイチゴ狩りエコファームを支援



4月20日、公明党市議団は、佐々木さやか参議院議員と共に、横浜市鶴見区の東京電力横浜火力発電所に隣接し、4月29日にオープンした「東京ストロベリーパーク」を視察しました。同パークの開設に関しては、市議団より都市農業の意欲的な取組として、規制緩和などを講じるべきだと訴えてきました。

横浜市環境科学研究所を視察



6月8日、公明党市議団は、本市施設の横浜市環境科学研究所を視察しました。当研究所は、地域の特性に応じた生物多様性の保全やヒートアイランド現象などの都市環境問題に関する新たな調査研究に取り組みとともに、規制・指導のための化学物質などの試験検査業務を行っています。また、インターネット等を活用した環境情報の提供、環境学習の「こどもエコフォーラム」の開催なども行っています。

中学校昼食「ハマ弁」 注文方法改善へ 当日注文の仕組みを検討

4月より値下げされ利用しやすくなったハマ弁。公明党市議団の要望により、当日注文について、今後、モデル校での実施結果を踏まえ、全校で実施できるように検討しています。



「ハマ弁」のメニューの一例

音楽療法の勉強会

6月29日、公明党市議団は、市役所内にて音楽療法士を招いて勉強会を行いました。音楽療法とは、音楽の効果を利用して、心身の障害の回復だけでなく、機能の維持改善、行動の変容、生活の質の向上を目指していくものです。身体・発達障がい児(者)、精神障がい者、認知症を患う高齢者、終末期の患者、不登校、引きこもりの児童や生徒など、さまざまな場面で、さまざまな人に利用されています。



県の同プロジェクトチームの佐々木さやか座長らと

誰ひとり取り残さない!

2015年9月の国連サミットで、SDGs(エス・ディー・ジーズ:Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)が採択されました。このSDGsは、国連加盟の193カ国が2016年~2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標と169のターゲットからなります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



その基本理念は「誰一人取り残されることのない世界の実現」です。

横浜市は、政府が定めるSDGs未来都市に選定されました。そのビジョンである「環境を軸に、経済や文化芸術による新たな価値を創出し続ける都市の実現」と「誰ひとり取り残さない」笑顔輝く南区を目指します。

*SDGsが現在、世界で広がりを見せているのは、左の17の『目標』にあるように開発途上国だけではなく先進国までの包括的なものだからです。

仁田まさとしが実現した【横浜市会公明党の主な実績】



- 子育て世代包括支援センターの展開
- 母子保健コーディネーターのモデル配置
- 小児医療費助成制度の対象年齢拡大
- 保育・教育コンシェルジュの設置
- スクールランチの導入
- 防災・減災推進員の創設
- 防災ヘルメットの小学生への支給
- 横浜市国際平和の推進に関する条例の制定
- 南区総合庁舎のエネルギーの自立化と省エネ化

<プロフィール>

動く、創る、変える。

横浜市議員 仁田まさとし

〔南区選出〕

- 昭和31年8月 横浜市南区に生まれる
- 昭和44年3月 横浜市立大岡小学校卒業
- 昭和47年3月 私立浅野中学校卒業
- 昭和50年3月 私立浅野高校卒業
- 昭和54年3月 横浜国立大学工学部卒業
- 昭和54年4月 株式会社巴川製紙入社
記録材料関連の研究開発および新規事業の企画・事業化に従事
電子情報通信学会会員、画像電子学会論文編集委員を歴任
- 平成6年11月 株式会社巴川製紙退社
- 平成7年4月 横浜市議員に初当選(現在6期目)

【議会役職】

建築・都市整備・道路委員会 委員
減災対策推進特別委員会 副委員長

【党役職】

県本部幹事会会長、同 南支部長
東海道方面本部副本部長

【家族】

妻と一男二女、母

【血液型】

B型

【座右の銘】

疾風に勁草を知る



仁田まさとし 検索



メールマガジンの登録はこちらへ